

キャリア理論家をみん合的に分類しちゃいました。

〈キャリア理論、発達理論、動機づけ理論の29名の理論家編〉

アプローチや分類		キーワード	人名
パーソナリティ・特性因子理論	特性因子理論	職業指導の父、丸い釘は丸い穴に	パーソンズ
		人と職業のマッチング、特性因子カウンセリング	ウィリアムソン
	特性因子論アプローチ	個人と環境の適合	六角形モデル (RIASEC)
ワークタスクディメンション			プレディガー
	早期決定論	親の養育態度	ロー
発達論・トランジションに関するアプローチ	心理・社会的な発達	発達課題を最初に提唱	ハヴィガースト
		自我同一性、8つの発達段階	エリクソン
		人生の四季、人生半ばの過渡期	レビンソン
		アイデンティティ・ステイタス	マーシャ
		人生の正午	ユング
		マージナルマン (境界人)	レヴィン
	職業的な発達	職業選択のプロセス (空想期、試行期、現実期)	ギンズバーグ
		ライフ・ロールとライフ・ステージ、5段階の職業的発達段階	スーパー
		組織と個人の相互作用、8つのキャリア・アンカー	シャイン
	転機の理論	転機に対処する4S	シュロスバーグ
		終わりから始まる	ブリッジス
		転機の4つのサイクル	ニコルソン
	人生100年時代のアプローチ	プロティアン・キャリア	ホール
キャリア構築理論、ナラティブ、ライフテーマ		サビカス	
統合的人生設計、4L		ハンセン	
社会的学習理論アプローチ	自己効力感を高める4つの情報源	バンデュエラ	
	ブランド・ハプスタンス	クランボルツ	
意思決定論アプローチ	連続的意思決定システムから積極的不確実性へ	ジェラット	
	認知的不協和理論	ヒルトン	
動機づけ理論	5段階の欲求階層説	マズロー	
	ERG (存在、関係、成長) モデル	アルダファ	
	達成動機理論	マクレランド	
	動機づけ要因と衛生要因	ハーズバーグ	
	X理論とY理論	マクレガー	

分類が難しいものもありますので、あくまで、みん合的分类であることはご了承ください。